

教育委員会資料

平成30年度 公益財団法人川崎市生涯学習財団「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」について

資料 「経営改善及び連携・活用に関する取組評価」
(公益財団法人川崎市生涯学習財団)

令和元年8月6日

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課

経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (平成30(2018)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
-----------------	-----------------	------------	----------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。

	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
法人の取組と関連する計画		子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	自ら学び、活動するための支援
	分野別計画	かわさき教育プラン	

4カ年計画の目標

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。また、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増に取り組むほか、組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト縮減を図り、安定的な経営基盤の確保を図ります。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度 (R1)	本市による評価 ・達成状況 (R2) ・費用対効果 (R3)	今後の取組の 方向性 (R4)
①	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業	事業参加者数	人	12,094	12,700	13,308	a	A	I
		事業別の行政サービスコスト	千円	24,285	26,679	26,061	1)	(1)	
②	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業	ホームページアクセス件数	件	53,674	54,000	59,313	a	A	I
		学習情報掲載件数	件	1,832	1,882	1,892	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	10,792	11,635	11,455	1)	(1)	
③	寺子屋先生養成事業	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	人	48	50	53	a	A	I
		事業別の行政サービスコスト	千円	597	661	697	2)	(2)	

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	自主財源の増加	授業料等収入の増加	千円	24,571	26,201	25,924	b	C	II
		施設使用料収入の増加	千円	20,717	20,288	20,140	c		
②	財務改善	管理費の縮減	千円	118,125	116,437	113,418	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	人材育成研修の実施及び コンプライアンスの遵守	研修の実施回数	回	4	5	5	a	A	I
		コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a		
②	事業・業務の点検	実施回数	回	1	2	2	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

- ・全般にわたり概ね目標を達成し、本市の生涯学習の推進に寄与しており、本市が求める役割を果たしています。「本市施策推進に向けた事業取組」や「業務・組織に関する取組」については、着実に目標を達成し、かわさき市民アカデミー協働事業や青少年学校外活動事業、シニア活動支援事業、寺子屋先生養成事業等に計画的に取り組み、目標を上回る実績を上げたことは評価できます。
- ・今後も、公益財団法人として全市的・広域的な視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、高度・専門的な学習ニーズに対応した場を提供し、多様な主体と連携しながら、市民の学習成果を地域づくりやまちづくり、つながりづくりなどに活かせるよう地域の人材を育成し、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進め、本市の生涯学習の推進に寄与することを期待します。
- ・また、「経営健全化に向けた取組」については、一部目標値を下回っています。公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、授業料等収入や施設使用料収入の増加のほか、引き続き、管理費の縮減に努めるとともに、安定的な財務基盤の確保や公益比率の維持に向けた取組を着実に進め、より一層の自主・自立的な経営を目指していく必要があります。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)

事業名	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業
計 画 (Plan)	
指標	事業参加者数
現状	高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であるかわさき市民アカデミー協働事業や川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を行うサマーキャンプなどの青少年学校外活動事業、シニア世代を対象に、これまで培ってきた経験や知識を活力ある地域社会づくりや学校支援に活かすシニア活動支援事業などを行っています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施し、参加者の増加を目指します。 ・青少年学校外活動事業については、内容の充実を図るほか事業内容の魅力の向上に努め、参加者の増加を目指します。 ・シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティアの養成講座の実施と学校等への生涯学習ボランティアの派遣、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施し、生涯学習に取り組むシニア世代の拡充を目指します。 ・その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート等を継続して実施し、本法人が実施する各事業の周知に努めます。
具体的な取組内容	各事業について、広報や内容を工夫して実施するとともに、収支を考慮しながら市民ニーズの把握・企画の工夫等により参加者増を目指します。また、当財団主催の講座等の参加者が、学んだ成果を地域づくりや市民活動に活かすことができるよう取組を進めます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわさき市民アカデミー協働事業は、市民の高度で専門的な学習機会の提供を支援するとともにその成果を地域還元させることを目的として、認定特定非営利活動法人かわさき市民アカデミーと連携して実施し、当財団は、受講生募集チラシによる広報の協力や生涯学習プラザ等の施設提供などの支援を行いました。各講座の受講者は延べ7,262人、かわさき市民アカデミー開講式参加者105人、フェスタ参加者835人、受講生のつどい参加者132人でした。 ・青少年学校外活動事業におけるふれあいサマーキャンプは、川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を通して豊かな自然や文化等にふれることを目的として6コース実施し、参加者は75人、交流自治体からは児童14人を受け入れました。また、キッズセミナーは、体験活動等を通して、夏休み期間中の学習活動の充実を図ることを目的として実施し、受講者は延べ853人でした。そのほか、子ども陶芸教室は、子どもの学校外活動の機会の提供や当財団主催の陶芸教室の受講生のボランティア活動を促進することを目的に実施し、参加者22人、子ども向けPC教室は、令和2年度からの小学校プログラミング教育の全面实施を踏まえ、平成30年度から新たに実施し、参加者は12人でした。 ・シニア活動支援事業における生涯学習ボランティアの養成・派遣は、シニア世代を対象にこれまで培ってきた経験や知識を、活力ある地域づくりや学校支援に活かすことを目的として実施し、養成講座修了者は71人、派遣人数は延べ2,225人、特別支援教育ボランティア交流会参加者は34人でした。市民アカデミー地域協働講座は、学習成果を地域貢献につなげる目的で実施し、受講者は、延べ451人でした。また、シニア活動講演会は、シニア世代が地域でいきいきと活動し、生活するための課題について考える機会の提供を目的として中原市民館と共催で実施し、参加者は119人でした。 ・その他支援事業では、身近な場所で音楽に親しむ機会の提供を目的として、ランチタイムロビーコンサートを11回実施し、来場者は延べ750人となりました。また、子育て中の市民が気軽に立ち寄り交流できる場の提供を目的として、中原区役所と共催で、「なかはらママカフェin生涯学習プラザ」を9回実施し、参加者は延べ348人でした。いずれの事業においても当財団が主催する事業の周知を行いました。
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業参加者数	目標値	/	12,700	12,700	12,700	12,700	人
	説明 事業参加者数で測ります。	実績値		12,094	13,308			
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施し、きめ細やかな広報の実施により、参加者を増加させることができました。

・青少年学校外活動事業については、昨年度未実施だったサマーキャンプを新たに1コース追加して実施しました。また、令和2年度からの小学校プログラミング教育の全面実施を踏まえ、平成30年度から新たに子ども向けPC教室を開催しました。

・シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティアの養成講座の実施と学校等への生涯学習ボランティアの派遣、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施し、参加者を増加させることができました。

・その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート等を継続して実施したほか、生涯学習プラザで、子育て世代の交流の場を提供し、来館者を増やすことで、当財団が実施する各事業への参加を周知することができました。

	区分	区分選択の理由
本市 による評価	達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A
		かわさき市民アカデミーとの協働事業やシニア活動支援事業、青少年学校外活動事業等の各事業について、きめ細やかな広報を行うなどの工夫をしながら継続的に取り組んだ結果、成果指標である「事業参加者数」が、平成30年度に13,308人となり、目標値を上回り、本市の生涯学習の推進に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	26,679	26,679	26,679	26,679	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		24,285	26,061			
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

各事業の効率的な執行に努めたほか、対象とする参加者にきめ細やかな広報を行い、定員充足率を高めた結果、自己収入が増加し、行政サービスコストについて目標値を上回って達成することができました。今後も、事業収支を考慮しながら取組を推進していきます。

	区分	区分選択の理由
本市 による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価) (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(1)
		事務経費の抑制に努め、行政サービスコストの目標値の範囲内で、本市施策推進に関する指標の目標値を上回り、本市の生涯学習の推進に寄与したため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I. 引き続き、市民ニーズの把握、各事業内容の魅力の向上に努め、対象とする参加者に応じたきめ細やかな広報を行い、着実に事業を推進します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)	
事業名	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業
計 画 (Plan)	
指標	①ホームページアクセス件数 ②学習情報掲載件数
現状	生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報、生涯学習情報誌「ステージアップ」による情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供しています。
行動計画	引き続き、生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報や生涯学習情報誌での情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供していけるようにホームページの充実を図ります。また、情報提供先と連絡を密にし、情報収集の拡充に取り組みます。
具体的な取組内容	生涯学習関連施設・団体の事業情報等、民間教育機関を含めより多くの情報元から積極的に情報収集を行って、財団ホームページを充実させ、生涯学習情報を効率的・効果的に提供します。また、生涯学習情報誌「ステージアップ」の発行により、市内で活躍している市民や団体の活動、当財団主催の講座紹介等を行います。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 市民が生涯学習のきっかけや場を探したり、自身の持つ知識や技術を地域に活かすなどの様々なニーズに応じられるよう、引き続き、財団ホームページに「講座・イベント情報」「生涯学習関連施設情報」「団体・グループ情報」「指導者・人材情報」などの生涯学習情報を掲載しました。また、市民館、図書館、博物館等の生涯学習関連施設、市内を中心とする関係団体、大学、民間教育機関から積極的な学習情報の収集を行い、学習情報掲載件数を増加させるなど財団ホームページの充実を図った結果、ホームページアクセス件数は59,313件となりました。</p> <p>【指標2関連】 市民の学習機会の拡大につながるよう幅広い学習情報の提供を行うため、教育文化会館・各市民館、各図書館、各博物館等の生涯学習関連施設、市内を中心とする関係団体、大学、民間教育機関などから学習情報を積極的に収集したほか、業務の効率化により学習情報掲載件数の増加を図り、財団ホームページに学習情報である「講座・イベント情報」を1,892件掲載しました。また、収集した学習情報を幅広く提供するため、神奈川県生涯学習情報システムへの情報提供を行いました。</p> <p>【その他】 生涯学習情報誌「ステージアップ」の発行により、市内で活躍している市民や団体の活動、当財団主催の講座紹介など、生涯学習に関する周知・啓発を行うことができました。また、メールマガジンを活用し、生涯学習情報や当財団主催事業の情報を発信しました。</p>

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	ホームページアクセス件数	目標値	/	54,000	54,200	54,400	54,600	件
	説明 情報の発信・提供の効果を具体的なホームページアクセス件数で測ります。 ※個別設定値: 53,078(過去の平均値)	実績値		53,674	59,313			
2	学習情報掲載件数	目標値	/	1,882	1,932	1,982	2,032	件
	説明 学習情報の掲載件数で測ります。	実績値		1,832	1,892			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・ホームページアクセス件数については、財団ホームページの「講座・イベント情報」「生涯学習関連施設情報」「団体・グループ情報」「指導者・人材情報」などの生涯学習情報の充実にも努め、目標値を大きく上回って達成することができました。
 ・学習情報掲載件数については、業務の効率化により件数の増加を図り、目標値を上回って達成することができました。引き続き、ホームページの活用・充実に取り組み、生涯学習に関する情報収集と情報提供のさらなる拡充に努めます。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
	A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	生涯学習情報を積極的に収集し、財団ホームページを充実した結果、成果指標である「ホームページアクセス件数」が、平成30年度に59,313件、「学習情報掲載件数」が1,892件となり、ともに目標値を上回り、本市の生涯学習の振興に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	11,635	11,635	11,635	11,635	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		10,792	11,455			

行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	-----------	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

事業の効率的な執行に努め、行政サービスコストについて目標値を上回って達成することができました。今後も、事業収支を考慮しながら取組を推進していきます。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
	(1)	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	事務経費の抑制に努め、行政サービスコストの目標値の範囲内で、本市施策推進に関する指標の目標値を上回り、本市の生涯学習の振興に寄与したため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 引き続き、生涯学習関連施設・団体、民間教育機関等を含めより多くの情報元から積極的に情報収集を行うなどし、情報収集と情報提供の拡充に努め、生涯学習情報を効率的・効果的に情報を発信・提供します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度)

事業名	寺子屋先生養成事業
-----	-----------

計 画 (Plan)

指標	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数
現状	市からの委託を受け、市内の各校で実施されている「地域の寺子屋事業」で学習支援の活動をする寺子屋先生を養成する講座を各区で開催しています。
行動計画	「地域の寺子屋事業」の拡充に合わせて、市と連携を取りながら、寺子屋先生養成講座を実施し、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。
具体的な取組内容	「地域の寺子屋事業」において、主に放課後の学習支援の中で子ども達の学習をサポートする寺子屋先生の養成講座を9期開催し、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 寺子屋先生養成講座は、主に放課後の学習支援の中で子ども達の学習をサポートする寺子屋先生の養成を目的として市内7区で9期開催し、受講者は144人でした。既に開講している寺子屋や翌年度の開講に向けて準備中の寺子屋を含めて、53人が新たに寺子屋先生としての活動に参加し、「地域の寺子屋事業」の推進に寄与しました。</p> <p>【その他】 「地域の寺子屋推進フォーラム」の運営を担い、寺子屋が開講していない学校の保護者をはじめ、寺子屋の取組を多くの市民に周知することができたほか、「寺子屋すみよし」「寺子屋おおがやと」「寺子屋ぎょくせん」の運営を事務局として支援するなど、中間支援組織としての役割を果たしながら、「地域の寺子屋事業」の推進に寄与しました。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	目標値	/	50	50	50	50	人
	説明 寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数で測ります。	実績値	48	53				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
----------------	---	---

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

養成講座の開催日程を工夫するなど受講生の増加に取り組み、「地域の寺子屋事業」の運営を担う人材の確保につなげることができ目標値が達成することができました。また、「地域の寺子屋推進フォーラム」の運営を担い、また、寺子屋が開講していない学校の保護者をはじめ、寺子屋の取組を多くの市民に周知したほか、「寺子屋すみよし」「寺子屋おおがやと」「寺子屋ぎよくせん」の運営を事務局として支援し、「地域の寺子屋事業」の推進に寄与しました。

<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;"> 本市による評価 </div>	達成状況	区分	A	区分選択の理由 寺子屋先生養成講座を実施した結果、成果指標である「寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数」が、平成30年度に53人となり、目標値を上回り、「地域の寺子屋事業」の推進に寄与したため。
			A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	661	661	661	661	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値	597	697				

行政サービスコストに対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

寺子屋先生を確保するため、寺子屋先生養成講座の開催数を前年度の7期から9期に増加させたことにより、講座運営に係る経費が追加で必要になったことから目標値をやや下回りました。

<div style="background-color: #6aa84f; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 18px;"> 本市による評価 </div>	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	(2)	区分選択の理由 前年度より寺子屋先生養成講座の開催数を2期増加させたため、行政サービスコストの目標値の範囲を超えたが、本市施策推進に関する指標の目標値を上回り、「地域の寺子屋事業」の推進に寄与したため。
			(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	市と連携しながら、寺子屋事業の運営を担う人材の確保に向けた「寺子屋先生養成講座」の受講生の増加に取り組み、「地域の寺子屋事業」の運営を担う人材の確保に努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

項目名	自主財源の増加
計 画 (Plan)	
指標	①授業料等収入の増加 ②施設使用料収入の増加
現状	生涯学習プラザの会議室等の貸出を行っているほか、収益事業として、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりや受講生同士の交流を目指すスポーツ教室、手軽に趣味や生活技術を学ぶことや受講生同士の交流を目指す文化教室、陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を目指す陶芸教室などを実施しています。
行動計画	公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。
具体的な取組内容	生涯学習プラザ施設提供事業については、稼働率の低い時間帯のニーズを分析し、稼働率を上げる取組を検討し、収益事業であるスポーツ教室、文化教室については、企画を工夫し参加者の増を図り、陶芸教室については、継続者が多いため、新規受講生の獲得を図ります。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室は、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加し、健康な身体づくりと受講生同士の交流を図ることを目的として実施し、参加者は延べ13,317人で、前年度より703人増加しました。実施にあたっては、市民のニーズを反映し、子育て世代向け親子リトミックなどの新規講座を開講して受講生の増加に取り組みました。 ・文化教室は、市民が手軽に趣味や生活技術等を学ぶことや受講生同士の交流を目的として実施し、参加人数は延べ1,615人で、前年度より70人増加しました。実施にあたっては、アンケート等により市民のニーズを踏まえながら企画を工夫して実施し、受講生の確保に取り組みました。 ・陶芸教室は、市民が陶芸を通して豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を図ることを目的として実施し、参加者は延べ4,136人で、前年度より305人増加しました。また、陶芸の初心者を対象とする、初心者陶芸教室を継続して実施し、陶芸教室の新規受講生の確保に取り組みました。 ・各収益事業の募集定員の充足率が高まるよう、きめ細やかな広報に努め、定員の充足率は、96.7%となり、前年度より2.7ポイント増加したほか、事務的経費の削減に努めて収益を確保しました。 ・公益事業では、キッズセミナー、子ども陶芸教室、子ども向けPC教室、市民アカデミー地域協働講座、大山街道ふるさと館での歴史文化探求事業等を実施し、参加者は延べ1,881人で、前年度より78人増加しました。
	<p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当財団主催の講座修了者を対象に、生涯学習プラザの利用を促進するなど、新規利用者の開拓に努めたほか、民間教育事業者等の利用促進に取り組んだほか、施設利用案内チラシを新たに作成・配布して広報強化に努め、利用件数は7,166件となり、前年度より56件増加しました。 ・指定管理施設である大山街道ふるさと館の貸館業務では、利用件数が2,021件となり、前年度より151件増加しました。

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	授業料等収入の増加	目標値	/	26,201	26,701	27,201	27,701	千円
	説明 授業料等収入の増加により測ります。	実績値		24,571	25,924			
2	施設使用料収入の増加	目標値	/	20,288	20,788	21,288	21,788	千円
	説明 施設使用料収入の増加により測ります。	実績値		20,717	20,140			

指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	c	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・授業料等収入の増加については、目標値を達成することはできませんでしたが、前年度の実績値を上回ったほか、定員の充足率は96.7%となり、前年度より増加させることができました。引き続き、募集定員の充足率を高める工夫や新たな講座を開設するなどの取組を進め、事業費の収支も考慮した受講料の見直しなどを検討していきます。

・施設使用料収入の増加については、目標値を達成することができず、前年度実績を下回りました。前年度まで定期利用していた団体が他施設に移ったことなども要因としてあることから、引き続き、利用案内の広報強化に努めるとともに、当財団主催講座終了者を対象に、生涯学習プラザの利用の促進に取り組むなど新規利用者の開拓に努めていきます。

<div style="font-size: 2em; color: green;">➔</div> 本市による評価	区分	区分選択の理由
	達成状況	C

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

経営健全化に向けた取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	財務改善
計 画 (Plan)	
指標	管理費の縮減
現状	委託費の見直しや消耗品費の見直し等で削減を図っています。
行動計画	組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高めることでコスト縮減を図ります。
具体的な取組内容	組織体制や事務分担、委託業務や事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高めることでコスト縮減を図ります。

実施結果 (Do)	
経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 経営状況を踏まえ、管理費の縮減に向けた取組として、平成30年度には組織体制及び事務分担を見直し、事務局職員を1人減員したほか、消耗品費、什器備品費の支出の抑制に努めました。また、次年度に向けて、事務局長と総務室長の兼務、事業推進室長と事業推進係長の兼務の解消を検討しました。</p>

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	管理費の縮減	目標値	/	116,437	115,088	113,711	112,711	千円
	説明 管理費の縮減により測ります。	実績値		118,125	113,418			
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

目標値を上回って達成することができました。引き続き、組織体制や事務分担、委託業務、事務経費、光熱水費などの恒常的な経費についての検討を継続し、管理費の縮減に努めていきます。



達成状況	区分	区分選択の理由
A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	組織体制及び事務分担を見直したほか、業務委託費、事務経費などの恒常的な経費の節減に取り組んだ結果、成果指標である「管理費の縮減」が、平成30年度に113,418千円となり、目標値を上回ったため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 今年度実績値が維持できるよう、引き続き、組織体制及び事務分担の見直しや事務経費などの恒常的な経費について可能な限り経費の節減に努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)	
項目名	人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守
計 画 (Plan)	
指標	①研修の実施回数 ②コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	職員等の意欲や能力向上を目的に4回の研修を実施し、人材の育成を図っています。また、コンプライアンスに反する事案は発生していません。
行動計画	研修の機会を確保し、人材育成研修の充実を図ります。また、コンプライアンスに反する事案の発生件数は0件を維持します。
具体的な取組内容	・業務理解、事業推進、情報スキル等の職員研修を実施する機会を確保し、企画力、業務執行力、専門性の向上を図ります。 ・コンプライアンス意識の高い職場の醸成に努めます。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当財団職員が、当財団事業の内容を把握し、新たな講座の提案や課題を共有して解決策の検討等が円滑に推進されるよう財団事業推進研修を実施し、対象者30人のうち19人が参加しました。 ・職員のICT能力向上のため、Word研修応用編を実施し、対象者30人中17人が参加しました。また、Excel研修応用編を実施し、対象者30人中11人が参加しました。 ・財団ホームページや財団主催の講座等の魅力的なチラシ作成に役立つチラシデザイン研修を実施し、広報担当者及び事業担当者等の9人が参加しました。 ・ふれあいサマーキャンプの引率を行う財団職員に対し、引率時の注意点のほか参加者や交流自治体への対応方法について研修を行う青少年交流引率者研修を実施し、対象者5人が全員参加しました。 <p>【指標2関連】</p> <p>職場内の打ち合わせや職員研修等の機会を活用して、情報共有やコミュニケーションを促進することで風通しの良い職場づくりを推進するなど、コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成に努めました。</p>

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	研修の実施回数	目標値	4	5	5	5	5	回
	説明 研修の実施回数により測ります。	実績値		5				
2	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンスを遵守します。	実績値		0				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

・研修の実施回数については、目標値を達成しました。引き続き、研修を計画的に実施するとともに職員の能力向上のため、内容の充実を努めます。
 ・コンプライアンスに反する事案の発生は無く、目標値を達成しました。今後も、コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成に努めます。

<div style="font-size: 24px; color: green;">➔</div> 本市 による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	本法人の職員の人材育成に努め、成果指標である「研修の実施回数」が、5回となり目標値を達成し、本法人の職員の能力向上や事業の充実、魅力づくりにつながったほか、法令違反行為等のコンプライアンスに反する事案はなかったため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
----------	-----------------	-----	----------------------

業務・組織に関する取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	事業・業務の点検
計 画 (Plan)	
指標	実施回数
現状	年に1回、各事業・業務の成果と課題まとめを行っています。
行動計画	上半期・下半期に各事業・業務の点検評価を行うことで、課題解消や改善点を迅速に各事業・業務に反映するとともに、次年度の事業計画にも反映します。
具体的な取組内容	上半期・下半期に役員及び事務局長、室長、係長で構成される経営委員会を開催し、各事業・業務の点検評価を行います。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期、下半期に各事業の実施状況や運営体制の点検評価を行いました。点検結果を基に対応を検討し、生涯学習プラザの施設利用チラシの作成及び配布による広報の強化を実施したほか、当財団主催の講座修了者を対象に、生涯学習プラザの利用を促進するなど、新規利用者の開拓に努めるとともに、業務の効率化により学習情報掲載件数の増加を図ることができました。また、特別支援教育ボランティアの報償費の支払い事務の効率化を図ることができました。 ・ふれあいサマーキャンプについては、コースによる応募者の偏りを改善できるよう宿泊数やプログラムの見直し、適正な引率者の人数調整を行うなどの検討を行い、次年度の事業計画等に反映しました。 ・特別支援教育ボランティア派遣事業については、報償費の見直しを検討し、次年度の事業計画等に反映しました。 ・諸経費の高騰等に対応するため、持続可能な事業の実施に向けて収支均衡を図るため受講料の見直しを検討し、次年度の事業計画等に反映しました。

評価 (Check)								
業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	実施回数	目標値	1	2	2	2	2	回
	説明 実施回数により測ります。	実績値		2				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
実施回数については、目標値を達成しました。今後も、効果的、効率的な事業・業務の推進について当財団職員の認識を高め、それぞれが誇りをもって各事業・業務に取り組めるように努めます。								



達成状況	区分	区分選択の理由
	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善 (Action)		
実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
		I

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	291,463			
	経常費用	300,502			
	当期経常増減額	△9,039			
	当期一般正味財産増減額	△11,202			
(指定正味財産増減の部)	当期指定正味財産増減額				
	正味財産期末残高	313,391			
貸借対照表	総資産	331,753			
	流動資産	48,097			
	固定資産	283,656			
	総負債	18,362			
	流動負債	18,362			
	固定負債				
	正味財産	313,391			
一般正味財産	113,391				
指定正味財産	200,000				
エラーチェック		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金		138,934			
委託料		5,393			
指定管理料		93,271			
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)		200,000			
(市出捐率)		100.0%			
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		261.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
正味財産比率(正味財産/総資産)		94.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)		-3.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
総資産回転率(経常収益/総資産)		87.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益)		81.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

法人コメント

本市コメント

現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
公益財団法人として、収支相償をはじめとする財務に関する基準を満たすとともに、法人の設置目的を果たすため、各種事業を継続的に実施しました。財務状況については、当期経常増減額、一般正味財産増減額ともにマイナスとなりましたが、経営改善及び連携・活用に関する方針における資金計画の目標値より赤字は縮減しています。これまでの事業規模の縮小と補助金の縮減に対応し、収益事業による自主財源確保及び経費縮減に取り組んでいます。現状では公益目的事業の収支差額を補填できるまでには至っていません。	引き続き事業費、管理費の支出を抑制する経費節減と各事業の損益改善に向けた取組を進めるとともに、所管課と十分に協議・連携を図りながら資金計画の目標達成に向けた着実な取組を進め、経営の安定化に努めます。	全般にわたり概ね目標を達成し、本市の生涯学習の振興に寄与しており、本市が求める役割を果たしています。今後も、全市的・広域的な視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、高度・専門的な学習ニーズに対応した場を提供し、多様な主体と連携しながら公益財団法人として本市の生涯学習の振興に寄与することを期待します。また、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、授業料等収入や施設使用料収入の増加のほか、引き続き、管理費の縮減に向けた取組を進め、安定的な経営基盤を確保する必要があります。

(2)役員・職員の状況(令和1年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	2		2	7		1
職員	6		6	24		6

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性